

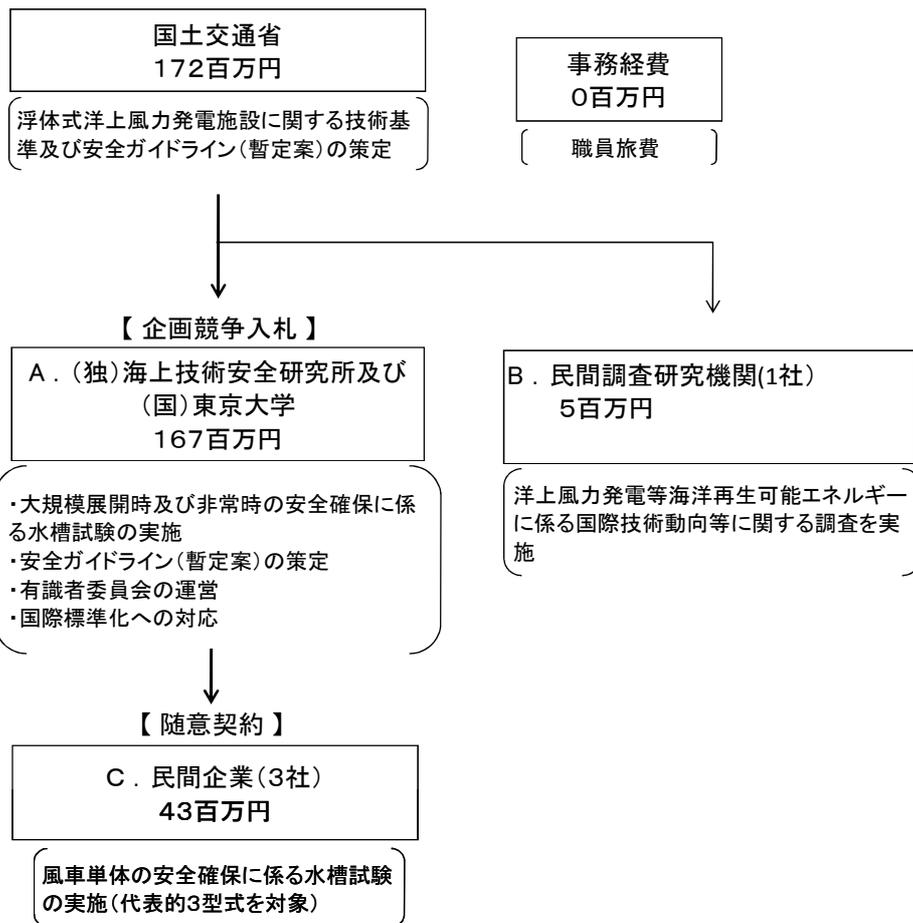
平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	浮体式洋上風力発電施設の安全性に関する研究開発		担当部局庁	海事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H25		担当課室	総務課技術企画室		室長 吉元 博文		
会計区分	一般会計		政策・施策名	11 ICTの利活用及び技術研究開発の推進 41 技術研究開発を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	海洋基本計画等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	浮体式洋上風力発電施設を、洋上という厳しい自然環境条件において安全に稼働させるための技術的検討等を実施し、世界に先駆けて安全確保の観点から風力発電の普及拡大に必要な環境整備を行うとともに、戦略的な国際標準化により、我が国の海事産業の振興を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	復興特会事業としては平成24年度限りで廃止した事業であるが、平成25年度以降は一般会計等事業として実施する事業である。 平成24年度限りで廃止した復興特会事業名:「浮体式洋上風力発電施設の安全性に関する研究開発」 事業番号:321 本施策では、台風、地震等我が国固有の状況を踏まえて、浮体式洋上風力発電施設特有の技術的課題について検討を行い、関係省庁等と連携して安全ガイドラインにまとめ、我が国における浮体式洋上風力発電施設の普及に向けた安全面の環境整備を行う。 また、浮体式洋上風力発電施設に係る国際標準化作業がIEC(国際電気標準会議)において進められているところ、技術的検討の成果を踏まえつつ、我が国の産業の強みを発揮できる国際標準となるよう戦略的に対応する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算				33		
		繰越し等				0		
		計				33		
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (32年度)
	(平成24年度限りで廃止された復興特会事業の執行実績に基づくものである) 本事業は、浮体式洋上風力発電施設を安全に稼働させるため、必要な技術的検討等を実施の上、平成25年度末までに安全ガイドラインを策定するものであり、事業の実施の成果を数値で定量的に示すことは困難である。		成果実績					一次エネルギー供給に占める再生可能エネルギーの割合:10%(エネルギー基本計画(平成22年閣議決定))
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	(平成24年度限りで廃止された復興特会事業の執行実績に基づくものである) 本事業は、浮体式洋上風力発電施設を安全に稼働させるため、必要な技術的検討等を実施の上、平成25年度末までに安全ガイドラインを策定するものであり、事業の活動内容を数値で定量的に示すことは困難である。		活動実績 (当初見込み)			()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0						
	技術研究開発委託費	33						
	計	33						

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・本事業は、浮体式洋上風力発電施設を安全に稼働するため、施設が満たすべき要件を技術基準及び安全ガイドラインとしてとりまとめるもの。 ・安全に関する基準等は、国民の生命・財産を保護するためのものであることから、国が一義的に策定する必要がある。 ・「東日本大震災からの復興の基本方針」(H23.7)において風力発電等再生可能エネルギーの導入を促進することとされている他、海洋基本計画(H25.4)においても「平成25年度までに安全ガイドラインを策定する」とされている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・企画競争入札、一般競争入札の実施により、競争性が確保されている。 ・費目・用途は安全ガイドライン策定に必要なものに限定されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	・当初計画どおりに着実に検討が進んでいる他、検討成果を基に我が国が国際標準化を主導しているなど、活動実績は見込みに見合ったものである。 ・本事業の成果は、経済産業省や環境省が取り組んでいる浮体式洋上風力発電実証事業に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	・経産省:大規模実証・導入促進段階における技術開発支援 ・環境省:適切な環境影響評価のあり方検討 ・国交省:安全性の確保		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
		浮体式洋上ウィンドファーム実証研究事業	経済産業省・資源エネルギー庁			
	浮体式洋上風力発電実証事業	環境省・地球環境局				
点検結果	平成25年度中の安全ガイドライン策定を目指し、適切かつ効率的な予算の執行に努める。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年		平成23年	23補-0039,新23-1031	平成24年	24-346, 24-347	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

※平成24年度限りで廃止された復興特会事業の執行実績に基づくものである



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(独)海上技術安全研究所及び(国)東京大学			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
試験研究費	模型等作成、水槽試験	73			
物品購入費	ソフトウェア、計測器	44			
外注費	水槽試験	43			
人件費	補助職員	6			
その他	旅費、謝金	1			
計		167	計		0
B.エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ 株式会社			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	調査	5			
計		5	計		0
C.株式会社アイ・エイチ・アイ マリンユナイテッド			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
試験研究費	風車単体の安全確保に係る水槽試験	15			
計		15	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

※平成24年度限りで廃止された復興特会事業の執行実績に基づくものである。

支出先上位10者リスト ※平成24年度限りで廃止された復興特会事業の執行実績に基づくものである。

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)海上技術安全研究所及び (国)東京大学	・大規模展開時及び非常時の安全確保に係る水槽試験の実施 ・安全ガイドライン(暫定案)の策定 ・有識者委員会の運営 ・国際標準化への対応	167	随意契約 (企画競争)	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイリサーチア ソシエツ 株式会社	洋上風力発電等海洋再生可能エネルギーに係る国際技術動向等に関する 調査	5	1	98
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	株式会社アイ・エイチ・アイ マ リンユナイテッド	風車単体の安全確保に係る水槽試験の実施(スパーク型)	15	—	—
2	株式会社三井造船昭島研究所	風車単体の安全確保に係る水槽試験の実施(TLP型)	15	—	—
3	三菱重工業株式会社	風車単体の安全確保に係る水槽試験の実施(セミサブ型)	13	—	—
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					